



琵琶湖疎水 鴨東運河建設中の様子
河田小龍 筆「河東工場全図」
所蔵:京都市上下水道局

「京の文化遺産 未来につなぐ日本のたからもの」

京都学講座「京の文化遺産」申込方法

京都学講座「京の文化遺産」は、京(みやこ)カレッジの講座の一つです。
講座全10回と実地講座の受講を希望する場合は、「京(みやこ)カレッジ生」としてお申込みいただく必要があります。

資料請求及びお申込み方法

- 受講料: 10,000円(全10回) ※実地講座は別途費用が必要です。
- 申込方法: 京(みやこ)カレッジ生募集ガイド(3月上旬配布開始)添付の出願票でお申し込みください。

《募集ガイド資料請求方法について》

郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を、メール、郵便はがき、FAX、もしくは下記のホームページにある請求フォームにて、大学コンソーシアム京都へお知らせください。以下の配布先でも入手できます。

《募集ガイド配布先》

キャンパスプラザ京都、京都市役所、区役所、支所、京都市の図書館等で配布予定

- 提出書類: ① 出願票1部
② 京(みやこ)カレッジ会員証用顔写真 (縦3cm×横3cm)1枚
- 提出期間: 《郵送》2016年3月8日(火)～19日(土)必着
※持参する場合は18日(金)・19日(土)10:00～16:00の2日間、キャンパスプラザ京都で受け付けます。
- 提出先: 大学コンソーシアム京都【京(みやこ)カレッジ担当】

【注記】

- ①申込方法の詳細は京(みやこ)カレッジ生募集ガイドにてご確認ください。
- ②定員(250名)を超過した場合は抽選により受講の可否を決定しますのでご了承ください。
- ③受講可否の案内は4月中旬迄に郵送いたします。
- ④受講の可否についてのお問い合わせはご遠慮ください。
- ⑤一旦ご入金いただいた受講料はご返金いたしませんのでご了承ください。

【京(みやこ)カレッジについて】

「京(みやこ)カレッジ」とは、京都市と大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業です。大学の正規科目が受講できるほか、「市民教養講座」や「京都力養成コース」といった大学の公開講座など300を超える科目・講座を提供しています。詳しくは「京(みやこ)カレッジ生募集ガイド」または京(みやこ)カレッジホームページをご覧ください。

【1回ごとの受講について】

※1回ごとの受講をご希望の場合は、直接会場へお越しください。(受講料:各回1,500円)
ただし、実地講座にはお申込みいただけません。
※京(みやこ)カレッジ生で定員を満たした場合は、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

大学コンソーシアム京都加盟校の 学生について

下記①②に該当する学生は無料で受講できます。
実地講座に参加する場合は京カレッジ生として申し込み必要がありますので、学生証のコピーを必ず添付して期間内に出願をしてください。

- ① 大学コンソーシアム京都加盟校の学生・留学生(大学院・専攻科・通信教育課程を除く)
- ② 放送大学京都学習センター全科履修生

※講座ごとで受講する場合は、直接会場の受付で学生証を提示してください。定員を満たした場合は、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

キャンパスプラザ京都 アクセス MAP



京カレッジの大学の講義や公開講座は主に大学キャンパスまたはキャンパスプラザ京都で開催されます。通学は市バス・地下鉄等公共交通機関をご利用ください。

開講期間 2016年 4月30日(土) ~ 2016年 12月10日(土)
10:00 ~ 11:30 (受付9:30~)

開講会場 キャンパスプラザ京都 (4階第2講義室)
※実地講座は、時間・会場が異なります。

第1回 4/30 (土) 賀茂の文化 ~式年遷宮諸祭を終えて
田中 安比呂 氏
賀茂別雷神社(上賀茂神社)宮司
小林 一彦 氏
京都産業大学 教授、日本文化研究所 所長

第2回 5/14 (土) 京町家のくらし・しきたり
杉本 節子 氏
公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事

第3回 5/21 (土) 二条城の魅力 ~建築と障壁画の融合
並木 誠士 氏
京都工芸繊維大学大学院 教授、美術工芸資料館 館長

第4回 6/25 (土) 祇園祭の現在と未来
岸本 吉博 氏
公益財団法人祇園祭山鉦連合会 理事長
八木 透 氏
佛教大学 歴史学部 教授

第5回 7/16 (土) 京の花街の建築文化
井上えり子 氏
京都女子大学 家政学部 准教授

実地講座 7/22 (金) 祇園祭ハレの日のしきたり
会場/重要文化財 杉本家住宅
杉本 節子 氏
公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事

第6回 9/3 (土) 京都の洋風建築の見所案内
川島 智生 氏
京都華頂大学 現代家政学部 教授

第7回 10/8 (土) 文化遺産としての保津川下り
~重要文化的景観の選定をめざして
豊田 知八 氏
保津川遊船企業組合 代表理事
河原 典史 氏
立命館大学 文学部 教授

第8回 10/22 (土) 岡崎の文化的景観と琵琶湖疏水
~鴨東運河をめぐる岡崎地域の土地利用の変遷
白木 正俊 氏
大阪府立大学 高等教育推進機構 講師

第9回 11/12 (土) 日本の伝統的な出汁 ~そのおいしさと健康への寄与
伏木 亨 氏
龍谷大学 農学部 教授

第10回 12/10 (土) 清水の舞台から
森 清範 氏
首羽山清水寺 貫主
八木 透 氏
佛教大学 歴史学部 教授

実地講座 11/26 (土) 日本料理の醍醐味を探る
会場/京料理 萬重
田村 國勝 氏
京料理萬重二代目 主人

※実地講座は、別途お申込みと参加費が必要です。

個人情報の取り扱いについて

提供いただいた個人情報は「京(みやこ)カレッジ」に関する運営(諸連絡や募集ガイドの郵送等)で使用するもので、その他の目的で使用することはありません。

お問い合わせ・資料請求先

公益 大学コンソーシアム京都 京(みやこ)カレッジ担当 受付時間:9:00~17:00
法人 The Consortium of Universities in Kyoto (日・月曜除く)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都1階
TEL. 075-353-9140 FAX. 075-353-9121 E-Mail: miyakare@consortium.or.jp

http://www.consortium.or.jp/ 京カレッジ

京都には歴史的な建造物が多く、美しい町並みを形成しています。世界遺産の寺院や神社、二条城にくわえ、群としては上賀茂の世家町、花街、国の重要文化的景観の岡崎界隈があります。公家屋敷に京町家、明治以降の近代建築や近代化遺産の建物も、市内各所に息づいています。こうした有形の建造物に、年中行事や祭礼、また料理など無形の人の営みが加わると、洗練された伝統の美しさが四季折々に立ち現れてくるのです。今回のシリーズは、未来につなぐ日本のたからものとしての京の文化遺産を解き明かしていきます。



京都学講座「京の文化遺産」開講記念講座

2016年3月12日(土) 13:30～15:00 (開場13:00)

「まちかどの神さん・仏さん」

講演内容／京の文化遺産といえば、平安神宮や清水寺などの神社や寺院が有名ですが、実はそれだけではなく、京にくらす庶民たちが、各町内の祠(ほくら)やお地藏さんを大切にしているということも、決して忘れてはならないことだと思います。藤原俊成を祀る俊成社がそれです。まちかどの神さんや仏さんは、小さくて名もなき存在ですが、町の人たちが代々一生涯懸命守ってきた歴史があります。これが京の文化の底力ではないのでしょうか。

会場／キャンパスプラザ京都 (4階第2講義室)

講師／冷泉貴実子氏 (公益財団法人冷泉家時雨亭文庫 常務理事)

京都市生まれ。京都女子大学大学院修士課程修了、専門は日本近世公家史。冷泉家24代当主の故・冷泉為任氏の長女で、25代当主冷泉為仁氏の妻。藤原俊成、定家の流れをくむ冷泉家の文化継承に力を注ぐ。また、冷泉流歌道の普及に努めている。住まいの「冷泉家住宅」は、1790年の建築であり、現存する唯一の公家屋敷で、国の重要文化財に指定されており、1994年から2000年にかけて「平成の大修理」が行われた。著書に『京の八百歳冷泉家歌よみ』(京都新聞出版センター)、等

八木透氏 (佛教学 歴史学部 教授)

同志社大学文学部卒。佛教学大学院文学研究科博士後課程単位取得、博士(文学)。専門は民俗学。著書に『京のまつりと祈り みやこの四季をめぐる民俗』(昭和堂)、他多数。祇園祭綾傘鉾保存会 理事なども務める。

定員／250名(先着順、申込不要)

参加費／開講記念講座は入場無料

第5回 7月16日(土)

京の花街の建築文化

井上 えり子氏
京都女子大学 家政学部 准教授

【概要】
京都には、祇園甲部、祇園東、宮川町、先斗町、上七軒の5つの花街があります。これら花街には、お茶屋・屋方(=置屋)に加え、歌舞練場(踊り専用劇場)、稽古施設(学校含む)、検番といった花街に特有の建築物があります。本講義では、京都5花街での調査をもとに、これら建築物について紹介し、花街の建築文化とその存在意義について考察します。



冷泉貴実子氏



八木透氏

第6回 9月3日(土)

京都の洋風建築の見所案内

川島 智生氏
京都華頂大学 現代家政学部 教授

【概要】
古都京都は戦争や震災から逃れたことで、数多くの歴史的な建造物が残っています。ここでは明治大正昭和の洋風建築を取り上げ、その特徴と意義について解説します。明治初期の擬洋風からはじまり、明治後期の本格的な洋風建築、大正期のセセッションや和風意匠との融合、昭和初期のアルデコやモダンデザインなど、歴史的な変遷を辿ります。また、学校や住宅、工場などあまり着目されない建築類型についても論じながら、京都で活動した建築家についても紹介します。



第7回 10月8日(土)

文化遺産としての保津川下り
重要文化財の景観の選定をめざして

豊田 知八氏
保津川遊船企業組合 代表理事

河原 典史氏
立命館大学 文学部 教授

【概要】
平安京の造成にあたって、保津川を利用して木材が運搬されました。約400年前には舟倉了以・素庵 親子が川を開削し、船によって薪や米などが運ばれるようになりました。明治期には、京都鉄道(今のJR嵯峨野線)の開通により輸送手段は鉄道へ移りました。一方、保津川下りは、観光資源として注目されるようになりました。保津川下りの伝統と船士(せんし)の活躍をお話します。



豊田知八氏

第8回 10月22日(土)

岡崎の文化的景観と琵琶湖疏水
鴨東運河をめぐる岡崎地域の土地利用の変遷

白木 正俊氏
大阪府立大学 高等教育推進機構 講師

【概要】
近代における岡崎地域の景観の変遷を、主として地図と写真を示しながら解説します。琵琶湖疏水が同地域の土地利用を規定した意味は大きく、近世後期には郊外農村に過ぎなかった同地域は別荘地や工場地、更には美術館・動物園・平安神宮が集中する京都を代表する祝祭空間に変貌しました。一方、同地域は現在でも近世からの特徴を一部残すとともに、戦後の開発も免れなかったことから、現在の岡崎地域がモザイク状に形成された郊外地であることを明らかにします。



2016年度京カレッジ 京都力養成コース 京都学講座 全10回 10:00～11:30

京の文化遺産 ～未来につながる日本のたからもの～

第1回 4月30日(土)

賀茂の文化 ～式年遷宮諸祭を終えて

田中 安比呂氏
賀茂別雷神社(上賀茂神社)宮司

小林 一彦氏
京都産業大学 教授、日本文化研究所 所長

【概要】
世界文化遺産に登録された当社には国宝の本殿を始め数多くの文化財建造物や、賀茂祭(葵祭)等年間70を超える諸祭典・行事があります。それらを今日迄継承し得たのは平成27年で第42回目を数えた「式年遷宮」の制度に他ならないと考えます。遷宮諸祭典の奉仕を終え、改めて先人から受け継いだ賀茂の文化について、視覚資料も交えて皆様にご紹介させていただきます。



田中安比呂氏

第2回 5月14日(土)

京町家の暮らし・しきたり

杉本 節子氏
公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事

【概要】
杉本家初代は、江戸期寛保3年に京呉服商奈良屋を創業。以降昭和の終わりまで家業を続けましたが、平成4年、京町家杉本家住宅とそこに育まれた江戸期町家の文化を財団へ移管しました。五代目によって天保年間に継られた暮らしの備忘録「歳申覚(さいちゅうおぼえ)」が伝えられ、今日もそのしきたりが継承されています。本講義では、食のならわしを中心とした江戸期の京商家の質素儉約・始末した暮らしの本質にふれつつ、現代のわたしたちが学ぶべきことは何かを考察します。



第9回 11月12日(土)

日本の伝統的な出汁
そのおいしさや健康への寄与

伏木 亨氏
龍谷大学 農学部 教授

【概要】
だしは日本食の味わいの中心となる重要なものです。しかし、フランスや中国をはじめ、世界中にだしと呼べるものは数多くあります。日本の伝統的なだしは、例えば、昆布と鰹節ならば、雑味の出ないように短時間で引くことにあります。純粋なうま味へのこだわりは、素材の美味しさを活かします。伝統的なだしのおいしさの理由を解説しながら、健康的な日本食とだしの関係を明らかにしたいと思います。



第3回 5月21日(土)

二条城の魅力 ～建築と障壁画の融合

並木 誠士氏
京都工芸繊維大学大学院 教授、美術工芸資料館 館長

【概要】
世界遺産・二条城は17世紀初頭の武家風書院造の様式をどめた城郭建築の代表であるとともに、狩野探幽をはじめとする桃山から江戸時代ははじめにかけて活躍をした狩野派の絵師たちの障壁画の宝庫でもあります。そして、二条城の魅力は、その建築と絵画の制作当初のあり方を体験できる点です。講座では、二条城の部屋の構成と障壁画の関係を中心にこの建物の魅力を紹介します。



第4回 6月25日(土)

祇園祭の現在と未来

岸本 吉博氏
公益財団法人祇園祭山鉾連合会 理事長

八木透氏
佛教学 歴史学部 教授

【概要】
7月24日の後祭が49年ぶりに、さらに大船鉾が150年ぶりに復活して2年が経過しました。祇園祭はこれからどう変わってゆくのでしょうか。今年から新たに山鉾連合会理事長に就任された岸本吉博氏をお招きして、祇園祭を取り巻く種々の問題、そしてこれからの祇園祭の展望について、抱負を語っていただきたいと思います。



岸本吉博氏

実地講座 7月22日(金) 10:00～11:30

祇園祭 ハレの日のしきたり

会場／重要文化財 杉本家住宅
定員35名(応募多数の場合は抽選) 参加費1,500円

杉本 節子氏
公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事

【概要】
杉本家は明治3年(1870年)上棟の京町家、重要文化財に指定されました。所在地である矢田町は、祇園祭に伯牙山を出す氏子町であり、杉本家住宅「店の間」はそのお飾り所として毎年7月14日～16日公開されています。今回の見学会は特別に祇園祭後祭の期間に行い、江戸期以来の当家の祇園祭との関わり、ハレの年中行事のしきたり、所蔵の村松景文(円山四条派絵師)による山鉾図絵について解説します。



杉本家住宅

実地講座 11月26日(土) 12:00～14:00

日本料理の醍醐味を探る

会場／京料理 萬重
定員45名(応募多数の場合は抽選) 参加費8,000円

田村 國勝氏
京料理 萬重 二代目主人

【概要】
京の伝統文化が深く息づく西陣の地で、昭和12年の創業という京料理 萬重。暖簾に受け継ぐ高い心は、お一人お一人のお客様の心にかなう当店ならではの料理を供することですと語る二代目のご主人の田村國勝氏に、ユネスコ無形文化遺産にも登録された日本料理の醍醐味についてお話しいただきながら、伝統の味をご賞味いただきたいと思います。



(写真はイメージです)